

「親のための応援塾」ニュースレター

平成21年2月2日発行

第2号

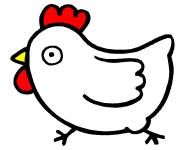
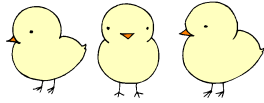
「応援塾」があるん

何、それ？

行くの？

同じ校区に住んでいる保護者同士の交流は、なんだか、ほっとしますよ！！

その地域ならではの情報もいっぱいよ！



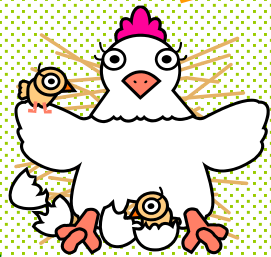
…というように、
まだまだ応援塾を知らない人がいっぱい。

そんな中、舞鶴市立中筋小学校PTAの応援塾に、
6年生保護者(22名)を上回る就学前の子どもの保護者(26名)が参加されました！

給食試食会で交流！

栄養士の先生から、「食」にかかわるお話を聞いた後、6年生の保護者と一緒に給食を食べながら交流しました。

6年以上実践されたお母さんならではのアドバイスは「さすが！」と、うなずけ、給食の悩みも解消し、みなさん笑顔で帰っていかれました。



中筋小PTAで大切にしていることを、きいてみました。



まず、「応援塾」のことを知ってもらうことが大切！

開催前に、地域の祭りに「応援塾ブース」を出しPRしました。その後の応援塾にたくさんの参加があったので、やはり、事前のPRがきっかけになっているのかなぁ…と思います。

参加者の立場になって内容を考えることが大切！

「時間内に食べきれぬのだろうか…」「食物アレルギーが心配。」「うちの子は、好き嫌いが激しいし…」など、親の不安が多い給食にスポットをあてて開催すると、多くの方に参加していただくことができました。

恒例のPTA行事とコラボレーションも大切！

2倍の効果がありました！

3学期に予定していた6年生保護者対象の給食試食会を応援塾と、ドッキングさせました。

先輩保護者にも無理なく参加してもらえ、和やかな交流会が持てました。



開催側にも確かな手応えが！！

応援塾の輪が広がっていくと、みんなの笑顔もどんどん増えます…。

<PTAから>

私たちの地域でも子どもの数が減り、まわりに相談する先輩も少なくなっていますので、応援塾に進んで参加してほしいです。

参加者から「学校の様子が分かり、参加して良かった」との御意見をいただき、企画したPTA役員の励みになっています。

後輩の方々に教える事はないかと頑張ってきましたが、逆に教えられることが多くありました。



<学校から>

今年は、初めての子どもを小学校へ入学させる保護者の参加が増え、「年々広がりつつあるなあ」とうれしく思っています。

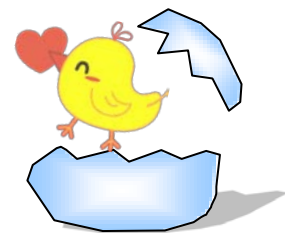
子育てにおける親の役割について、学び合えました。

子どもは子ども同士、親は親同士で本音で会話のできる場所が必要なんです。



親のための応援塾

安心して
入学式がむかえられますように…。



「応援塾」は、小学校入学前の子どもをもつ保護者の方々が先輩保護者とともに、子育てについて話し合い、交流を深める場です。

京都府教育庁指導部社会教育課 TEL 075-414-5887 FAX 075-414-5888